



# リモート店員プロジェクト

人口減少社会の労働環境



高松美香 向井晴菜 平木健太郎  
福知山公立大学 情報学部 (指導教授 山本吉伸)



## 人口減少社会と地域の小売店ニーズ

お客さんが少ない⇒従業員をフルタイムで雇用するのは困難  
働き手も少ない⇒遠くの店に通勤するのでは移動コストが過大に

変化する社会・労働環境

フルタイム労働者中心の社会から細切れ労働力中心の社会へ  
⇒高齢者や子育て中の人等の労働力をいかに活用できるかが鍵

## 複数店舗で、ちよつとづつ…の働き方

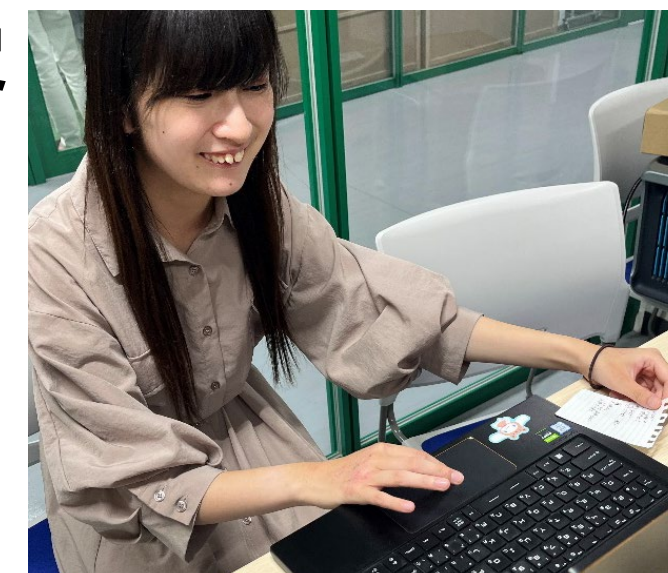


デモ動画



### 人による対応が中心

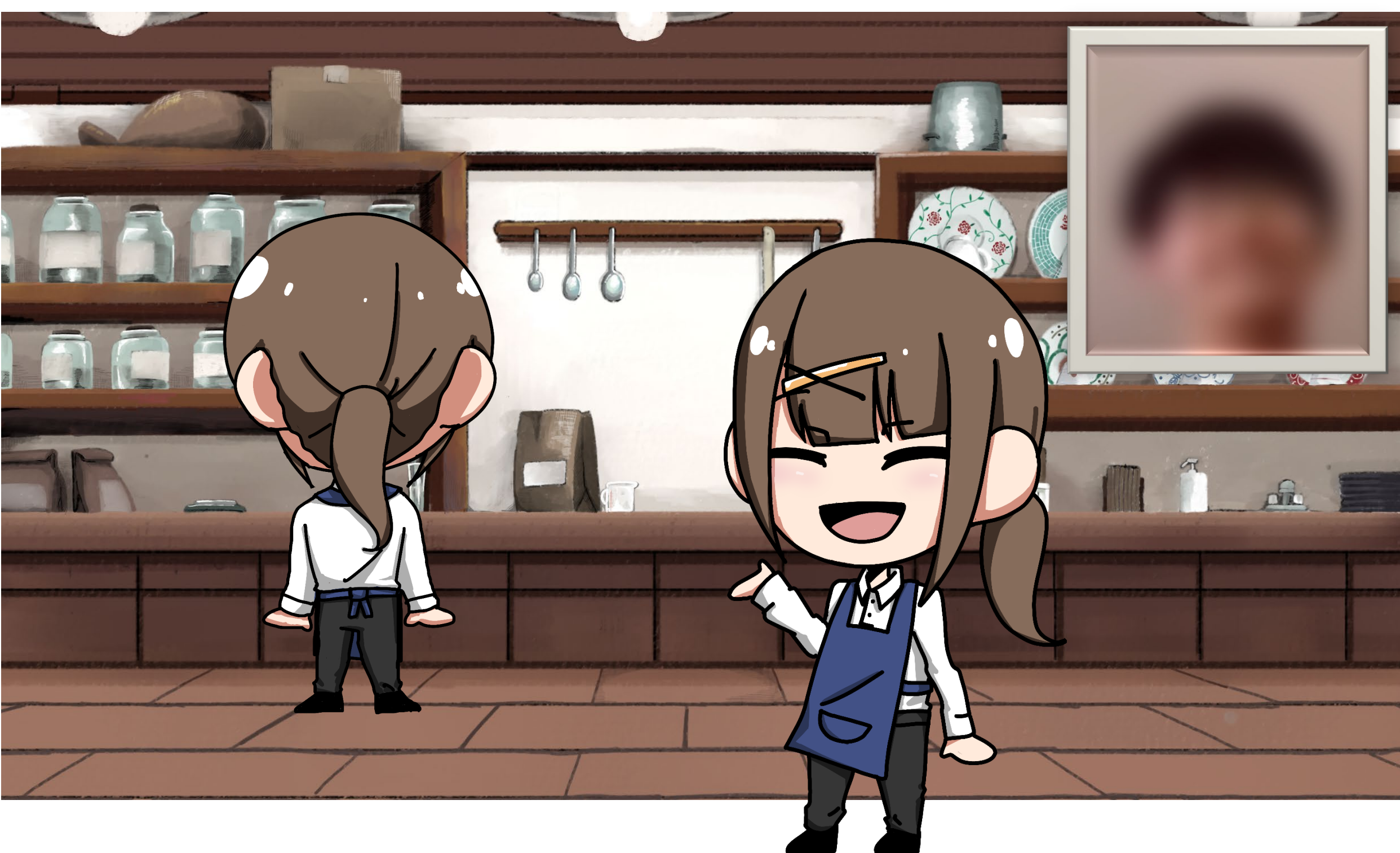
- 自宅でラフな格好でも接客できるようにアバター表示
- ジェスチャー操作やメニュー提示機能等を搭載
- 現地のカメラは複数台が望ましい
- 対応可能店舗数の増加、同時来客時の対応などが今後の課題



## もちろん、店員不在の時間もAIが対応

### 店員との話易さを向上

- 普段は後ろ向きでなにか作業をしているAI店員
- 来店を検知したらこちらを向いて、店員側から呼びかけ
- 呼びかけている相手を画面に表示することで「AI店員が誰に話しているのか」がわかる



リモート店員の技術で「ここに来れば誰かおるやろ…(いつきても誰かいる)」という交流拠点を作ることができるか、が我々の最終チャレンジ

